

保護司会だより

柏地区保護司会（柏支部、流山支部、我孫子支部）

第60号

柏地区保護司会
広報部会

柏市柏5-10-1
柏市役所福祉部
福祉政策課内
柏地区保護司会事務局

令和六年八月二十八日に、再犯防止推進計画策定のお願ひおよび柏地区保護司会の新任役員就任ご挨拶を目的として、田中大輔千葉保護観察所長、成嶋文子柏地区保護司会会長等が太田和美柏市長を訪問し、市長に「再犯防止推進計画策定の要望書」を提出しました。

また、柳沢真希子千葉保護観察所次長および荒井えり子我孫子支部長が我孫子市役所を訪問し、「再犯防止推進計画策定の要望書」を同市役所に提出しました。



再犯防止計画策定

今年度の大会は、令和六年十一月二十一日に銚子市内の犬吠埼ホテル（彩雲の間）において、約五百名の参加者で執り行われました。柏地区保護司会からは、顕彰対象者二十九名中九名が参加。加えて、成嶋文子会長などの同行者、柏市福祉部、福祉政策課の倉知職員、東葛地区更生保護女性会の高橋静代会長など、総勢十九名で、小雨が時折ぱらつくなか、柏市役所前からバス一台で出発しました。途中、犬吠埼灯台近くの「スパ&リゾート九十九里 太陽の里」で昼食後、大会の会場に向かいました。



犬吠埼灯台

第一部の清興では、銚子はね太鼓保存会による「はね太鼓」が披露されました。はね太鼓は、江戸時代から銚子だけに伝わる祭り太鼓で、銚子市の無形民俗文化財とのこ



とで、たいへん迫力のあった大会でした。

第二部の式典では、黙禱後に国歌斉唱、清宮一義千葉県保護司会連合会長の式辞、田中大輔千葉保護観察所長および越川信一銚子市長の主催者挨拶があり、顕彰式となりました。柏地区保護司会からは法務大臣表彰の渡邊勝蔵氏などが受彰され、千葉地方検察庁刑事正、千葉県知事（動画メッセージ）から祝辞を頂きました。



顕彰式で、全国保護司連盟理事長表彰を受章した椎名潤氏（柏支部）は「会場の銚子まではバスで三時間ほど。犬吠先ホテルに着くと、来年度の大会が柏市で開催されるため、皆さんは休む暇もなく、来年度の大会がスムーズに行われるための参考にと、手分けして準備の模様や受付のノウハウなどを視察して回りました。大会は銚子はね太鼓保存会による躍動的な『はね太鼓』の披露があり、大歓迎を受けた。次に顕彰となったが、私自身は五年前に重い心臓疾患に見舞われ、二カ所の弁置換手術を乗り越えて、今日まで一日一日を生かされてきたことが心中に去来し、感慨深いものとなりました。大会が終わった頃には、小雨も上がり、西の空には顕彰者を祝福する



保護司として心に残る事

柏支部 澁谷克弘
私が保護司になって十年が経ちました。長い期間、保護司活動をしてい

また、数年担当をしていると「転居先でもお願いできませんか？」と言つて「県をまたぎますが、近いのでお願いします。お願いします」と話された方もいました。

他に「友人と近くに旅行に行ったので、お土産です」と突然自宅に来る方もいました。でも、嬉

司の事も気にして頂いているのかな：と思ひました。

時には警察署から「身元引受人になつてくださ

署へ迎えに行つたこともありましたね。本当に様々なことがありますが、心に残る事も多いです。

保護観察が終わつても、時々電話を下さる方もいます。嬉しい時ですね。

五年前より、世界的にもコロナウイルスが流行つた中、面接中に咳をする対象者もいました。数日経つて「コロナでした」と連絡が入り、私自身の感染は有りませんでした。が、面接時はいつもドキ

新任保護司



よろしく願ひします。（敬称略）令和六年十一月一日付
◆中島貴洋（柏支部）
学生時代に犯罪心理学、薬物依存症、カウンセリング等を学びましたが、ご縁が無く、四十年間異なる関係の仕事に就いておりました。

ともに関心のあつた保護司に関するニュースに接する機会も多く、残りの人生、社会に貢献したいとの思いが強まり、お仲間に入るようになりました。

これからお会いする人たちとよりよい信頼関係を築けるよう、誠実さをモットーに取り組んでいきたいと思ひます。よろしく願ひいたします。

◆田辺修（柏支部）
大学を卒業後、約三十六年間、国際

ドキしながらの面接も多い感じでした。

全国ニュースにも取り上げられた対象者がいました。引受人の父親は六十代で、凄く真面目な方でした。家と会社の往復だけの人で、友人、話す相手もない方で、只々、一生懸命に頑張つていた人でした。対象者の出所が近くなると、これから

の事も心配のようでした。しかし、出所して直ぐに引受人は亡くなりました。

この間十年、私の指導でも数名の対象者には心が届いたのかな：と考える事も有ります。これまでの対象者の方、全て心に残っています。私が担当した方々がますます、社会に慣れ、社会復帰をして頑張つて頂きたいと思ひます。

退任保護司

ご苦労様でした。ありがとうございました。（敬称略）



協力関係の仕事に従事しておりますが、定年を控え、そろそろ地域社会の一員として何かできることがあるのではと軸足を移しつつあるところに、縁あつて保護司の方（呑田さん）に出会い、その活動の意義に深く感銘を受けて、勢いのまま皆様の仲間になりました。

研修等に参加して諸先輩方のバラエティさに多



ご指導ご鞭撻の程、よろしく願ひ申し上げます。

令和六年十月三十一日付
★渡邊勝蔵（柏支部）
★深野正裕（柏支部）
令和六年十一月三〇日付
★橋幹雄（我孫子支部）

特例による定年延長再任
同制度により
令和六年十二月一日付
（敬称略）
☆福岡英壽（柏支部）
☆遠藤秀生（柏支部）

編集後記
上野京子氏（柏支部）に揮毫いただき、一面の題字「保護司会だより」が新しくなりました。揮毫ありがとうございます。

今号から、この題字となります。保護司会だよりが、どんどん進化していきますね。嬉しいです。

柏地区保護司会は、昨年七月からNOODが使えるようになりました。一時間弱程度の会議は、サ

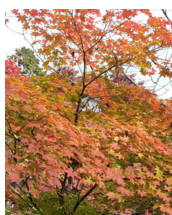
ポートセンサーなどに集まらなくても携帯電話やPCから参加が出来るようになった。初めて携帯電話でNOODを使う方には、インストール方法や使い方のマニュアルもリリースされました。IT活用が着実に一歩一歩、進んでいきます。

今号でも柏市のキャラクタ「カシワニ」、我孫子市マスコットキャラクターの「手賀沼のうなぎちゃん」に登場いただきました。

第六十八回千葉県更生保護大会は、令和七年十一月二十日に柏市民文化会館において実施されます。IT活用もしながら、盛大に盛り上げたいですね！

（M・K）

【栃木刑務所】
刑務官の説明では、全国に女子受刑者を収容する刑務所は十二カ所で、最大の施設が栃木刑務所。収容定員は六五五名で、女子受刑者のみ四百六十名（令和六年四月一日現



栃木市太平山の紅葉

令和六年十一月二十六日から二十七日まで、視察研修旅行を実施しました。柏地区保護司会の坂巻清副会長、山根孝裕研修部長、鏑木香代子東葛地区更生保護女性会副会長などを始め、総勢四十名が参加。参加者は、栃木刑務所（二十三名）および更生保護法人栃木明德会（十七名）の二手に分かれて、視察を実施しました。二十七日には、福島県いわき市内のいわき震災伝承みらい館も訪問してきました。

視察研修旅行

在）が収容され、このうち外国人が三分の一を占めている。受刑者の中には、二十回も刑務所に入っている方や、介護が必要な方（女性刑務官が車イスを押して移動）もいて、高齢で認知症となり、排泄に関するトラブルもあるとのこと。外国人は、刑期終了後に国外退去となるそうです。刑務官の宿舍費は無料。配属されて数カ月で辞めていく女性刑務官もいるとのことでした。

刑務所内を見学すると、受刑者は、洋裁等の生産作業、および炊事やグラウンド草刈り等の自営作業を実施していました。職業訓練として美容科、フットクリフト運転科、介護福祉課等があり、資格が取れるようになっていました。美容室が併設されており、栃木市民等が格安で利用することが出来るとのこと。見学中に「逃走、火事、自殺が三重大事故」と刑務



栃木刑務所視察の参加者

官から説明があり、人権に配慮した独房（壁がピンク、トイレが見えないように低い板で仕切り等）や、難燃材の使用、自殺しづらい内装（タオル掛けは一定以上の重さに対して折れるように設計）等になっていました。

梅澤一雄氏（流山支部）は「施設が老朽化しているも、ピンクの壁やトイレ対応等で人権に配慮している。受刑者を車イスで押す女性刑務官もいて、介護施設のようにビックリした。刑務官が辞める理由もわかる気がする。刑務官は、ある程度、覚悟がないと厳しいと思う」と感想を語ってくれました。



栃木明德会視察の参加者

【栃木明德会】創立百十五年以上と歴史が古く、女性のための更生保護施設。施設内はバリアフリー化されています。桐林千登勢氏（柏支部）は「女性用の更生保護施設で、利用者数の減少が経営面に影響するため、年齢や健康面等を基準を緩和して受け入れをされているそうです。高齢の利用者への細やかな対応についても伺いました。更生保護と医療福祉が重なる状況においての『社会復帰とは何か』を考える機会となりました」と感想を述べていました。



いわき市を襲った津波の映像を上映しながら、学芸員が当時の状況（原発事故を含む）や復興について説明をしてくれました。

左下の写真には、東日本大震災で、いわき市内の海岸に津波が押し寄せてくる映像（上）、当日の午前中にいわき市立豊間中学校の卒業式用に卒業祝いのメッセージが書かれた黒板（中）、体育館演壇の隅に流されたながらも復活させることが出来た「奇跡のピアノ」（下）が、今回の参加者と共に写っています。

震災で亡くなった方々への鎮魂や、復興まちづくりを祈念して、帰路につきました。

◆千葉県作文コンテスト受賞者◆
第七十四回「社会を明るくする運動」千葉県作文コンテスト入賞作品

《中学校の部》
◆千葉県BBS連盟会長賞
柏市立柏第三中学校三年 松島蘭奈さん
「言葉大切に」

《小学校の部》
◆入選
流山市立江戸川台小学校五年 波多野知歩さん
「地域の人とつながることの大切さ」

◆入選
我孫子市立我孫子第三小学校六年 馬場瑠那さん
「平和な社会をめざして」

受章者祝賀式典

令和六年十二月六日、ハート柏迎賓館において第六十七回千葉県厚生保護大会で法務大臣表彰を受章されました渡邊勝蔵氏（柏支部）などの祝賀式典が執り行われました。渡邊氏に対して「目の前の相手と真摯に向き合い、丁寧に対応されるその姿勢やお人柄に、多くの方から信頼が寄せられ、その後ろ姿からたくさん学ばせていただきました」と感謝と敬意が伝えられました。



なお、藍綬褒章の角川よね氏（我孫子支部）、前述の渡邊勝蔵氏、関東更生保護委員長表彰の岡田智佳氏（柏支部）の三名から、寄稿を頂きましたので掲載します。



＊退任に当って＊
角川よね
最初に、この度、藍綬褒章受章につきましては二十四年間、千葉保護観察所の皆様方や、保護司の方々、家族の方等のご指導、ご協力によりまして受章できましたことに心から感謝いたしております。

ところで、保護司活動につきまして、対象者の八割方が若い人が多く、自分の孫のような人もおり、態度も言葉も良くなくて、当初は大分苦慮しました。保護司に委嘱された時の気持ちを忘れずに、千葉保護観察所からの調書を熟読し、自分なりに何処に原因や問題があるのかを推察して、対象者に向き合っていました。面談の時は、本人に自由に話をさせて、それが嘘であってもしっかりと最後まで聞きました。話し合いの時は褒めたり、注意したりしながらも「対象者の良い方向にもっていかれたら」と思っています。誰にでも必ずよい所、得意なものがあると思いますので、それを見つけ

て伸ばせるよう努力はしてきましたが「中々難しいなア」と思いました。また、中には初犯の時に担当した対象者が、三、四年後に再犯をして、直ぐに保護者の方から「また担当していただけないですか！お願い致します」と悲痛なお電話をいただきました。この時は「自分の更生方法で良かったのかなア」と疑問ながらも、自分を信じてくれて頼っていただけなのに感謝して、「今後は二度と罪を犯さないように面談の中で更生させていかなければ」と強く心に誓ったことが思い出されます。

最後に多くのことを学ばせて頂き、楽しく保護司活動ができましたことに感謝いたしております。ありがとうございます。令和六年十月末をもって保護司を定年となりました。これまで先輩の皆様の御指導と、皆様の御支援により、無事に定年を迎える事が出来ました。ことに感謝申し上げます。

＊保護司になって＊
岡田智佳
昨年十月二十五日、松本市で行われた「更生保護制度施行七十五周年記念第三十八回関東地方更生保護大会」に参加し、関東更生保護委員長表彰を受けました。

平成二十八年三月に保護司を受任して、はや九年、実は、それ以前にも声をかけて頂いたのですが、「荷が重すぎる」とお断りしました。柏市議会議員となり、社会に貢献するのも自分の役割のひとつと考え、有難く引き受けました。

これまで何人かの対象者を見守ってきましたが、最も印象に残るのは、やはり最初に関わった方（女性）です。複雑な家庭で様々な事情を抱え、事件をおこした後は、家族と疎遠になっていました。頼れる人が周りにおらず、新米保護司の私に一日に何回も電話をかけてきて一度話を始めると、電話は一時間、二時間と続きました。最初は私も彼女を丸ごと受け止め疲弊し、ベテラン保護司の先生に相談したこともありました。しかし、次第に彼女との距離感をつかみ、私のペースで必要なアドバイスができるようになっていきました。

それでも、彼女の父親が亡くなった翌年の元旦の朝、「さみしいよ」と泣いてかけてきた電話に、この日ばかりは、ただただ話を聞き、寂しさを受け止め、お正月から一緒に涙を流しました。保護観察期間が終わる日、「あの日のこと、覚えてるよ。付き合ってくれて、本当にありがとう」という言葉を残す彼女に、寄り添う事の大切さを改めて感じました。

対象者との距離感は、人それぞれで、何が正しいという事はありません。逆にそれを見極めるのが最も重要であり、最も難しい。相手も私たち保護司も、生身の人間ですから。保護司を受けたお陰で、私自身が成長していると感じます。必要とされる限り、この役目を続けさせて頂きたいと思っています。

